

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【公開番号】特開2018-43059(P2018-43059A)

【公開日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-011

【出願番号】特願2017-243953(P2017-243953)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月27日(2018.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

通常遊技状態と、当該通常遊技状態よりも有利な第1特別遊技状態と、当該通常遊技状態よりも有利な第2特別遊技状態と、を含む複数の遊技状態のうち、何れかの遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段を備え、

前記遊技状態制御手段は、

前記通常遊技状態において、第1移行条件が成立した場合、前記第1特別遊技状態に移行するように制御可能であり、

前記第1特別遊技状態において、所定当選役が所定回数当選した場合、前記第2特別遊技状態に移行するように制御可能であり、

前記第2特別遊技状態において、第2移行条件が成立した場合、前記第1特別遊技状態に移行するように制御可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記所定回数は、

第1所定回数と、

前記第1所定回数よりも多い回数である第2所定回数と、を含む

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記第2特別遊技状態は、

第1期間継続する場合と、

前記第1期間よりも長い期間である第2期間継続する場合と、がある遊技状態である

ことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記遊技状態制御手段は、

前記第2特別遊技状態において、前記第1特別遊技状態及び前記第2特別遊技状態における獲得遊技媒体数が所定数に達した場合、前記通常遊技状態に移行するように制御可能である

ことを特徴とする請求項1～3の何れか一項に記載の遊技機。

【請求項 5】

通常遊技状態と、当該通常遊技状態よりも有利な第1特別遊技状態と、当該通常遊技状態よりも有利な第2特別遊技状態と、を含む複数の遊技状態のうち、何れかの遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段を備え、

前記遊技状態制御手段は、

前記通常遊技状態において、第1移行条件が成立した場合、前記第1特別遊技状態に移行するように制御可能であり、

前記第1特別遊技状態において、所定当選役が所定回数入賞した場合、前記第2特別遊技状態に移行するように制御可能であり、

前記第2特別遊技状態において、第2移行条件が成立した場合、前記第1特別遊技状態に移行するように制御可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するため、本発明の遊技機は、通常遊技状態と、当該通常遊技状態よりも有利な第1特別遊技状態と、当該通常遊技状態よりも有利な第2特別遊技状態と、を含む複数の遊技状態のうち、何れかの遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段を備え、前記遊技状態制御手段は、前記通常遊技状態において、第1移行条件が成立した場合、前記第1特別遊技状態に移行するように制御可能であり、前記第1特別遊技状態において、所定当選役が所定回数当選した場合、前記第2特別遊技状態に移行するように制御可能であり、前記第2特別遊技状態において、第2移行条件が成立した場合、前記第1特別遊技状態に移行するように制御可能である構成としてある。